

3. 基本理念

都市の緑は、市民の生活に潤いと安らぎを与えるとともに、気候を和らげるなどの機能があります。さらに、地震発生時の防災機能や二酸化炭素の吸収・固定、生物多様性の確保などの環境改善機能が注目されています。

成田市には、谷津田や里山をはじめとする郷土の原風景となる景観を構成する都市の緑が残っています。さらに、根木名川・大須賀川などの中小河川が流れるとともに、印旛沼が成田市の景観や生態系の軸となっています。平地に広がる農地などの緑は、身近な生活環境に潤いを与えています。

成田山新勝寺などの個性ある歴史資源が保全され、周囲の緑と相まって成田らしい風格のある景観をつくっています。また、市内には樹林地を中心として多くの緑が残っており、市街地の新しい緑とあわせて保全・創出していくことが求められています。

これらの歴史的な資源は年間1,000万人以上の人々が訪れる観光資源となっており、周辺の緑は、魅力ある観光地づくり、景観形成のため重要な要素となっています。

計画の実現にあたっては行政だけでなく、市民・事業者等が協働して緑を保全・創出していくことが求められています。

本計画では、本市の緑の将来像を以下のとおり掲げます。

